



NO. 643  
発行  
2008・9月15日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教 宣 部

# 県の在来線対策強化求め

# 上越市・糸魚川市 に申し入れ

在来線開業準備協議会の設置を前に在来線を守る三市連絡会（代表 尾崎靖弘）は、八月十八日上越市、十九日糸魚川市に『国、JRの負担と役割を果たす新しい仕組みの構築』を地元自治体の声として県に要望するよう申し入れました。



上越市の申し入れには、尾崎代表、杉本前市議ら七名が参加、竹田企画地域振興部長が対応、糸魚川市は、大平事務局長、山下地区労連議長ら四名で栗林副市長と懇談を行いました。

# 妙高で大シンポ予定

8月18日、19日の懇談会に続いて『妙高と信越本線を考える会』（代表・岡山紘一郎旧妙高高原町長）主催で9月6日、妙高高原メッセ多目的ホールでシンポジウムを開催します。

内容は、作新学院大学、石井晴夫先生の講演、地元代表（妙高旅館連合会、高校生等）の意見発表や与党合意見直しを求める決議など、挨拶が予定されています。

# 趣旨に異存はない

申し入れに、両市側は、最初のスキームから環境や情勢が大きく変化していて趣旨に全く異存はない『柱、基本方向がシッカリしない中で大変苦労している』として苦しい胸のうちを明かしました。



# 見解は示せない

そうであるなら、なおのこと県や国にハッキリ物を言うべきだが『三市が足並みを揃えていて独自にはむづかしい』『市の考えはあるが見解は示せない』と腰を引いています。

その一方で『地域住民の足、物流の動脈は守らなければならない』『過大な負担はできない』とも。さらに『県の資産取得の考え、起債交付税措置について、それが成り立つのであれば一つのシナリオと思う』『要は落とし所の問題だ』とつけ加えています。



これは、市の財政がひっ迫しなければよしとする、いわば帳尻合わせの考え方ではないでしょうか。先行する三セクにみられるように、運賃の大幅値上げ、地域負担抜きに収支均衡は考えられず、経営も効率本位、儲け本位とならざるをえなくなります。

# いま必要なことは

今、求められているのは、公共交通、並行在来線に対して、国・JRの責任を求めていくことです。この懇談会を通して、物を言う相手は県と国で、三市とは連携・共同の対象との輪郭が少し見えてきました。

『市民のバックアップがないと行政だけでは、どうにもならない』との上越市の部長の発言は真実味があつて耳に残っています。



K N 山の会

# 槍・穂高連峰縦走

2008年7月30日～8月2日(3泊4日)



上高地からの撮影

## 1日目

7月30日快晴、相変わらず賑やかな上高地を12:07出発、途中徳沢園で名物のソフトクリームを食べ15:02横尾山荘に到着。さっそく明日にそなえて乾杯し風呂に入りまた乾杯。あまり汗もかかないのに、明日から本格的な登山なのにお風呂とは?...

## 2日目

7月31日晴れ、横尾山荘6:06出発 槍沢ロッジに7:35到着少々休憩を取り槍を目指すがなかなか槍の姿は見えません。しかし、樋口さんの明るい声が響き元気がでる。ようやく槍の穂先が姿を現し歓声がどっと湧く。しかしここからが長い、いけども行けども槍ヶ岳山荘には着かない。12:52ようやく槍ヶ岳山荘に到着、ご苦労さんでした。槍の穂先へは希望者だけが往復しました。みなさん限界気味なのに14:01南岳小屋へ歩きだす。16:28南岳をへてようやく南岳小屋に到着、延べ10時間20分ながい1日でした。その晩は、疲れのせいかアルコールの量はすすみませんで、担いできたウイスキーが減らず、石津さん長沢さんはぷんぷん。

事の発端は2000年 我KN山の会の夏期登山、燕・大天井・常念岳縦走時向かいの槍ヶ岳から穂高岳の稜線があまりにも印象的で忘れられず、メンバーの田沢さんがどうしても槍・穂高連峰を縦走したいという思いからはじまりました。

2003年今回のコースと同じ横尾山荘から槍・穂を目指しましたが山行3日目、南岳小屋で目を覚ますと外は強い雨風で断念。翌年今度は反対のコース岳沢から穂・槍に挑戦しましたが、また雨風で断念せざるをえませんでした。

槍・穂縦走は我々には縁がないのかなとあきらめの境地でした。しかし、メンバーの皆さんが年をとり今年が最後のチャンスと思い、田沢さんが計画し坂井リーダーのもとで槍・穂縦走が実施となりました。



ミヤマリンドウ



天を突き出しそうな槍ヶ岳

今回は『KN山の会』の縦走を紹介しました。この編集は野村さんが担当されたそうです。プリンターのスキヤナーで取り込んで載せました。直江津支部の太平さんからの並行在来線の投稿を記事にしました。ありがとうございました。

## 編集後記

